

医療法人 和同会 防府リハビリテーション病院

リハビリテーション科 学会内容/学術発表⑧

8. 学会名；第28回 山口県慢性期医療協会研究会 演題発表

【開催地】海峡メッセ下関

【日時】2025年2月15日

【演題名】当院での三位一体（リハ、栄養、口腔）の取り組み

～摂食嚥下支援チームの立ち上げについて～ 発表者：高松 亮一



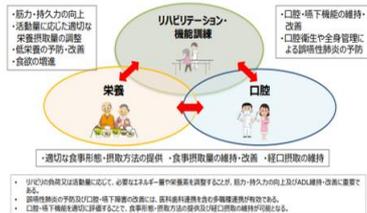
【目的】

- ・当院では、摂食嚥下支援チーム・栄養サポートチーム(NST)を立ち上げ、歯科による口腔衛生管理やリハビリテーションを含めた三位一体とした取り組みを意識し、実施している。
- ・2022年4月から摂食嚥下機能回復体制加算の取得を開始した。
- ・入院関連機能障害(HAD)に対して、専門職ごとに目的に特化したリハビリテーションの実施。
- ・特に摂食嚥下支援チームでの、定期カンファレンスや嚥下造影検査(VF)の実施や多職種間で方針の検討の実施。
- ・「歩けない」「食べられない」といった状態からの改善に向けた取り組みの内容の報告を行う。

自立支援・重度化防止を効果的に行うための取組の連携

リハビリ、栄養、口腔の取組は一体となって運用されることで、より効果的な自立支援・重度化予防につながるが期待される。

医師、歯科医師、リハ専門職、管理栄養士、歯科衛生士等の多職種による総合的なリハ、機能訓練、口腔・栄養管理



【結果6】

活動報告 摂食嚥下支援チーム①



医師・看護師・言語聴覚士・理学療法士・管理栄養士・社会福祉士等による多職種から構成される摂食・嚥下支援チームの介入により、摂食・嚥下機能の維持・改善に努めている。

当院の三位一体の取り組みとして、摂食嚥下支援チームやNST、歯科による口腔衛生管理やリハビリテーションの活動報告を行いました。特に高齢患者は、併存疾患を多く有しており、多職種連携による介入が重要となります。今後も多職種連携を通じて慢性期医療やその他の分野に有益となるような活動を継続していきたいと思います。

【特別講演】

『医療政策の方向性』 厚生労働省大臣官房 厚生科学課長 眞鍋 馨 先生

【ランチョンセミナー】

『中小病院で可能な医療DX導入と活用～業務改善の実施について』

岡山博愛会病院 法人本部 事務局長 三宅 謙太郎 先生

『節電時代の二刀流！あなたのそばで活躍するガス空調』

ヤンマーエネルギーシステム株式会社 空調システム営業部 阪本 怜 先生